

# 令和8年春の火災予防運動



## 住宅防火 いのちを守る10のポイント

### 4つの習慣

- 寝たばこは絶対にしない、させない
- ストーブの周りに燃えやすいものを置かない
- こんろを使うときは火のそばを離れない
- コンセントはほこりを清掃し、不要なプラグは抜く

### 6つの対策

- 出火防止  
逃火防止センサー  
火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する
- 早期発見  
定期的点検  
ボタンを押す ひちまを引く  
火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する
- 延焼拡大防止  
防火カーテン  
防炎マット  
防炎カーパー  
火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防炎品を使用する
- 初期消火  
火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく
- 早期避難  
避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく
- 地域の助け合い  
防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う

FDMA 消防庁  
Fire and Disaster Management Agency  
https://www.fdma.go.jp/

お問合せ先 宮古地区広域行政組合

3月1日(日)から3月7日(土)までの一週間、春の火災予防運動を実施します。空気が乾燥し、暖房機器を使用することが多いこの時期は、毎年多くの火災が発生しています。

この運動で、より一層住民の皆様には防火意識を高めていただき、火災の発生を防ぎ、尊い命と貴重な財産を守りましょう。

## ○住宅防火対策の推進について

全国の住宅火災による死者数は近年減少傾向でしたが、令和3年から増加に転じました。また、死者数はゆるやかに増加傾向であり、令和5年から2年連続で1,000人を超えています。そして、死者数の7割以上が65歳以上の高齢者となっています。いのちを守る10のポイントを参考に、自宅の防火に対する習慣と対策を見直しましょう。

## ○地震火災対策の推進について

大規模地震時に電気に起因する火災が多く発生していることから、地震時の電気火災リスクを低減するため、感震ブレーカーの設置促進に取り組んでいます。感震ブレーカーは、地震を感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止め、電気機器からの出火を防止する器具です。感震ブレーカーの設置は、不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に電気火災を防止する有効な手段です。



# 地震による 電気火災 対策を!

## かん しん 感震ブレーカー が効果的です!

東日本大震災における本震  
による火災全111件のうち、  
原因が特定されたものが  
108件。  
そのうち過半数が  
電気関係の出火でした。



※日本火災学会誌「2011年東日本大震災 火災等調査報告書」より作成



### 地震が引き起こす電気火災とは?

地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が回復した時に発生する火災のことです。

#### 『電気火災の事例(その1)』

地震で本棚が倒れ、雑誌が電気ストーブ周辺に散乱。 → 停電したが復旧から通電し、ストーブが自動。 → 紙類に着火、火災が発生。



#### 『電気火災の事例(その2)』

家賃が払えず、「電気コード」が下向きや引張で破損。 → 通電の瞬間、コードがショート。 → 散乱した室内で、近くの燃えやすいものに着火。



### 感震ブレーカーとは?

感震ブレーカーは、地震を感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止めます。

【感震ブレーカーの種類】

計量器タイプ (内蔵型)	計量器タイプ (挿入型)	コンセントタイプ	感震タイプ
分電盤に設置されたセンサーが地震を感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止めます。	分電盤に設置されたセンサーが地震を感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止めます。	コンセントに挿入されたセンサーが地震を感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止めます。	地震の揺れを感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止めます。
電気工事が必要	電気工事が必要	電気工事が必要	電気工事が必要



感震ブレーカーを設置して  
電気火災から「家」・「地域」を守ろう。

この欄に掲載する製品は、株式会社  
東洋電気工業株式会社が発行している「防災情報」  
No. 2011 東日本大震災対策情報 17頁1番  
に掲載されています。  
お問い合わせ先  
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
東洋電気工業株式会社  
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
東洋電気工業株式会社  
http://www.toyoei.co.jp/pressroom/pressroom.html



## ゆるサイと 火災・防災 再かくにん!

近年、リチウムイオン蓄電池による  
火災が増加傾向!!

携帯用扇風機  
モバイルバッテリー

その涼しさと便利さ、火の用心とセットで。

充電中や満充電時、  
高温・高温 = 危険信号

大きな地震に備えて、  
『感震ブレーカー』を設置!!

感震ブレーカーは、地震の揺れを感知すると自動で電気を遮断し、過電火災を未然に防ぎます。特に、水道の家がたくさん集まっている場所など、燃え広がる危険性が高い地域では、その設置が強く推奨されています。

現在、感震ブレーカーの設置率は全国でまだ一部に留まっています。分電盤タイプ、コンセントタイプ、簡易タイプなど、様々な種類がありますので、ご家族に合ったタイプを選び、設置を検討しましょう。